

TV 報道検証【報道特集】 報告書

テレビ局：TBS	番組名：報道特集	放送日：2020年6月20日
出演者：金平茂紀、日下部正樹、膳場貴子、宇内梨沙		
検証テーマ：オープニング、河井夫妻、中国の潜水艦が領海付近に、東京都知事選挙 【結論】河井夫妻逮捕～買収事件の裏に何が		
報道トピック一覧 <ul style="list-style-type: none"> ・移動自粛解除初の週末の観光地 ・ヤマハが久しぶりのラグビー教室 ・各交通機関も徐々に客足が戻る ・オープニング ・アメリカ各地で差別撤廃デモが行われ八村選手も参加 ・河井夫妻 ・WHOが「世界は危険な新局面にある」との報告 ・米軍三沢基地で感染者確認 ・中国の潜水艦が領海付近に ・大井競馬場から競走馬脱走が相次ぐ ・東京都知事選挙 ・上野広小路交差点で乗用車とバイクの衝突事故 ・【結論】河井夫妻逮捕～買収事件の裏に何が ・【結論】ダム予定地に生まれて ・スポーツ報道 		
放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨 <ul style="list-style-type: none"> ・オープニング：結論→問題なし <p>番組の冒頭で金平キャスターが「問題山積の中、国会が閉じられた直後に河井前法務大臣夫妻が逮捕されました。早速、閉会中の集中審議を野党が求めたところ、与党は安倍首相の出席を拒否しました。責任を痛感します、説明責任を果たします、あの言葉は一体何だったのでしょうか。呆れた以上に、うんざりです。」とのコメントをしていた。このシーンに当てられたのは22秒で放送法上は特に問題は見られなかった。</p> ・河井夫妻：結論→特に問題なし <p>前場キャスターによって「去年の参議院選挙で地元議員らを買収したとして河井克行前法務大臣夫妻が逮捕された事件で、検察当局が二人のスマートフォンのGPS情報から現金を配布した日時や場所を特定していたことがわかりました。衆院議員で前法務大臣の河井克行容疑者と妻の案里容疑者は去年7月の参議院議員選挙で案里議院を当選させるために地元議員94人に総額およそ2570万円を渡し、買収した疑いで逮捕されています。関係者へのその後の取材で検察当局が今年3月に押収した夫妻のスマートフォンを解析し残されたGPS情報をもとに現金を配った日時や場所を特定していたことが新たにわかりました。検察当局はこの情報と現金配布先を示したと見られるリストをもとに地元議員などを事情聴取し、大半が現金の受け取りを認めたということです。一方、弁護士によりますと、河井前法務大臣は不正な行為はしていない、案里議員は違法な行為をした覚えはないと容</p> 		

疑を否認しているということです。」とのことが伝えられた。このトピックに当てられた時間は 77 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・中国の潜水艦が領海付近に：結論→特に問題なし

膳場キャスターの「中国のものと思われる潜水艦が確認されました。」とのコメントを受けてナレーションによって「防衛省は 18 日午後、鹿児島県奄美大島の北東の接続水域内を潜水艦が浮上しないまま西に向かって航行しているのを確認したと発表しました。また今日の午前には鹿児島県横当島西の接続水域の外を西に向かって航行しているのを確認したということです、いずれも日本の領海には入っていません。中国の潜水艦と見られるということで海上自衛隊の哨戒機や護衛艦かがなどを派遣し情報収集、警戒監視にあたっています。」とのことが伝えられた。このトピックに当てられた時間は 42 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・東京都知事選挙：結論→特に問題なし

膳場キャスターの「東京都知事選の告示後初の週末を迎えた今日、各候補者は街頭に立つなどそれぞれの選挙戦を展開しています。」とのコメントを受けて、以下に朱記したような VTR が取り上げられた。

"宇都宮健児（元日弁連会長）「この東京から貧困や格差をなくしたい。一人ひとりが希望を持って生きられるような社会にしたい。」

ナレ「元日弁連会長の宇都宮健児氏、今日は国民民主党の小沢一郎衆院議員らの激励を受けました。」

"小野泰輔（元熊本県副知事）「即戦力として、様々な解決策を見いだせると思います、苦しみや悲しみを聞いて、そして具体的な策を作っていききたい、そう思っています。」

ナレ「熊本県の前副知事の小野泰輔氏は銀座を練り歩き、握手ではなく肘タッチで支持を呼びかけました。"

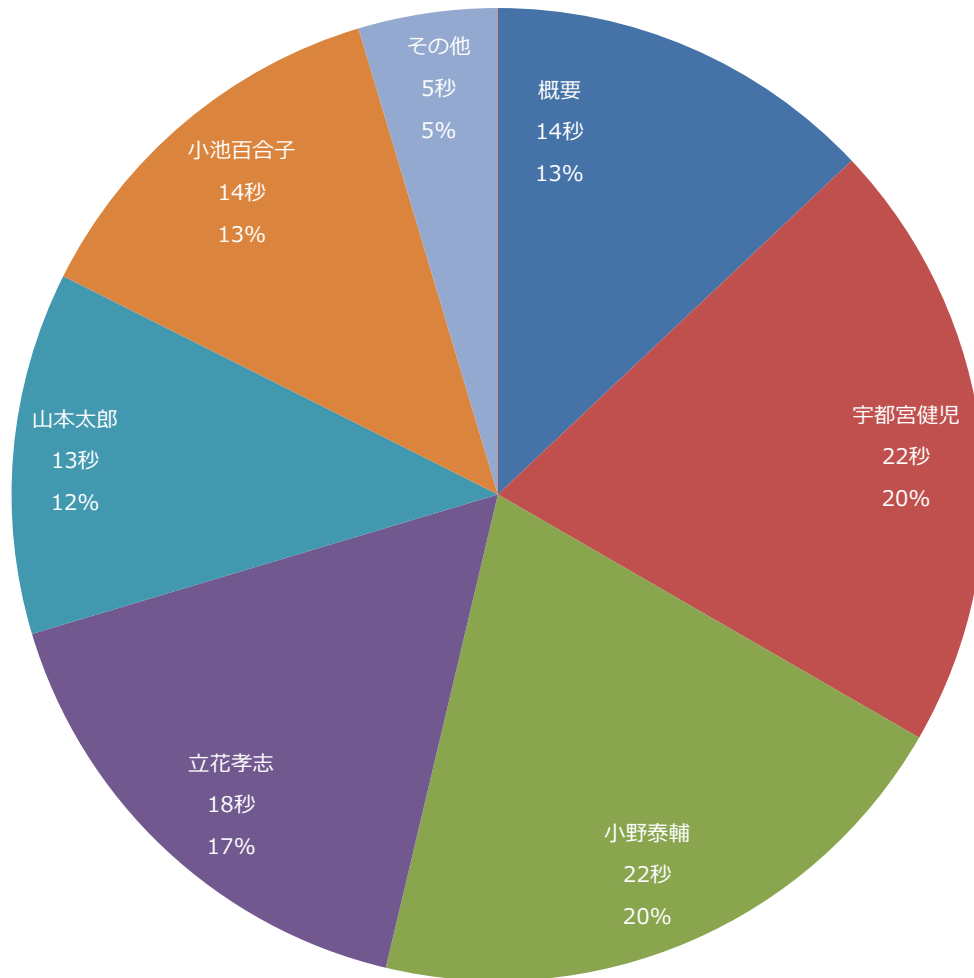
"諸派で NHK から国民を守る党の党首、立花孝志氏も街頭で演説。」

立花孝志（「NHK から国民を守る党党首」）「馬鹿に政治をさせたら、もう頭のいい人はたまらないですよ、被害の内容に沿った補償をしていかなければなりません。」

ナレ「この他、れいわ新選組代表、山本太郎氏は生活が困窮する人への手立てをすぐにでも講じたいなどと訴えていて午後七時から都内で街頭演説を行います。また、命と健康を守ることを最優先に経済活動を強化としている現職の小池百合子氏はオンラインでの選挙戦を展開していて、午後 9 時から動画を配信する予定です。

東京都知事選挙にはご覧の 17 人も立候補しています。投開票は来月 5 日です」

このトピックに当てられた時間は 108 秒で時間配分及び比率は以下の通りであった。



放送法上は特に問題は見られなかった。

・【結論】 河井夫妻逮捕～買収事件の裏に何が：結論→極めて問題

スタジオでの膳場キャスターの「特集は憲政史上初めて法務大臣経験者の逮捕にまで発展した買収事件です。」とのコメントおよび金平キャスターの「事件の舞台となった参院選で、河井陣営には、1億5000万円もの巨額の資金が、自民党本部から投入されていました。事件の背景に迫ります。」とのコメントを受けて以下に朱記したような特集が取り上げられていた。

ナレ「今週水曜日」

膳場「コロナ対応の最中、野党が求める会期延長も退け、今日で国会は閉会します。」

ナレ「河井克行前法務大臣と、妻の案里議員が、本会議に出席した。」

膳場「河合議員が出てきたようです。出てきましたね。」

河井克行前法相「捜査中だから。」

膳場「河井案里議員が、参議院の本会議場から出てきました。」

"記者「ご説明をいただきますか？」

膳場「有権者に何て説明されるんですか？何で説明なさらないんですか？」

河井案里参院選議員「弁護士から止められております。申し訳ございません。」

ナレ「そして、翌日二人は逮捕された。憲政史上を始めてとなる法務大臣経験者の逮捕。事件の舞台は、案里容疑者が出馬した去年の参議院選挙だ。」

安倍総理「皆さんどうか、河井案里、河井案里と最後までどうかよろしくお願いします。」

(c m)

ナレ「買収事件の舞台となった、去年の参議院選。河井案里容疑者の応援には、安倍総理家菅官房長官も駆けつけた。自民党の現職、溝手顕正氏は落選。案里容疑者が当選した。そもそも二人目の候補者擁立に、地元は強く反発していた。だが実は、2013年の参院選でも、安倍総理は、溝部氏に加え二人目の擁立を要請したという。当時の幹事長、石破茂氏は、報道特集にこう明かす。」

石破茂元幹事長「安倍総裁から、広島から二人出したいって言う、ご要請はあったんですね。けど同じ中国地方だから分かるんですけど、その広島って政令指定都市で、中国地方一の大都市ですよ。平和運動ってのも、非常にこう、強い支持を受けているところで、そこで自民党二人って、厳しいと思いましたがね。その件に怨念と分断を残しちゃうんで、『それはできません』つって広島に二人あてるって言う総裁のご意向を、受け入れなかったことがありますけどね。」

ナレ「石破氏は安倍総理の要請を拒んだという。溝手氏は安倍総理批判を繰り返してきた。」

(2012年) 溝手氏「(安倍首相は) もう過去の人だからね。今一生懸命リハビリって言うかね。」

ナレ「河井陣営には、自民党本部から、溝手氏の10倍となる、1億5000万円の資金が投入された。」

石破氏「新人を当選させるために、あるいはご自身を批判した人に、こう、対抗して出すために、10倍の資金ってのはすごかったね。」

膳場「度を越してる？」

石破氏「うん。思いました。だって、他にも新人いっぱいいたんですし、自民党全体のために良かったのかなというのは、それは、当時の私の判断と、去年の安倍さんの、強い意向とは、ちょっと違う。」

ナレ「案里容疑者について、石破氏は。」

石破氏「総力かけて応援した自民党。なかんずく、総裁。となりの山口県から、いっぱい(安倍首相の)秘書さんも入られたわけ。でしょ。そして街頭にも立たれわけですよ。もちろん河井さんの責任もあるけど、やっぱり有権者の方々にお願いした、その責任もあると思いますよ。」

金平「河合夫妻が地元でばらまいていた金の出所がどこなのか。自民党本部から送られた1億5千万円という破格の選挙資金とのあいだにどういう関係があったのか。捜査がどこまで踏み込むのかが、重要なポイントです。」

ナレ「逮捕容疑は、公職選挙法違反の買収だ。河合夫妻は去年の参院選で、案里容疑者を当選させるため、地元県議ら94人に、報酬として、総額2570万円を渡した疑いが持たれている。」

広島県議「受け取ったのは私ではなくて、うちの事務所をする事務員やの。なんかポケットに突っ込まれたって言うたかの。」

ナレ「検察当局は二人の認否を明らかにしていないが、弁護士によると、克行容疑者は、不正な行為はしていない。案里容疑者は違法な行為をした覚えはないと話しているという。」

女性「号外お配りします。」

ナレ「地元広島からは、」

女性「こんな、ね、不正なことをやって、ね、逮捕されるって、広島県人として恥ずかしいです。」

女性「このまま、ね、議員を続けるなんて、嘘でしょういうか。ありえない話です。」

ナレ「安倍総理は」

安倍総理「かつて法務大臣に任命したものとして、その責任を痛感しております。国民の皆様には深くお詫び申し上げます。克行容疑者から現金 20 万円を受け取ったとして、4 月に辞職した広島県安芸太田町の小坂前町長。」

小坂前町長「白い封筒をテーブルの上へ出されて、その時のことを、まあそういう状況の中で、受け取りました。」

ナレ「今週話を聞きに行くと、」

金平「えー。つい先ほどまで、その、話をお聞きしたんですが、カメラの前でをしたいはどうしても勘弁して欲しいとのことだったんですが、前町長がいうには、是非とも選挙の原点に戻って、綺麗な選挙をして欲しいということをお願いするというふうにおっしゃっていました。」

ナレ「捜査のきっかけは、案里陣営が、ウグイス嬢に、日当 15000 円の法定上限を超える報酬を支払ったとされる事件だ。ウグイス嬢を集めに関わった女性は」

女性「河井ルールと呼ばれるお話が、あるんですけども、河合さんの所の、うぐいすへの支払いは、日当 3 万円。喋り始めて克行さんが、声が気に入らなければチェンジ。チェンジというアクションが出るので、」金平「ああっ。これですか。こんなアクション。これも河井ルールの。」女性「そうですね。」

ナレ「今週火曜日、広島地裁は、案里容疑者の公設秘書、立道浩被告に対し、懲役一年六ヶ月。執行猶予 5 年の有罪判決を言い渡した。」

金平「えーこの種の選挙違反事件としては、極めて重い有罪判決が出ました。これは裁判所は、今回の事例が非常に悪意したという風に見ている証拠だと思いますが、」

ナレ「判決が確定して、連座制の適用が認められれば、案里容疑者は失職することになる。河井克行容疑者は、いかにして安倍総理、菅官房長官に、近いと言われる存在になったのか。報道特集は、自民党が下野した 2009 年頃から、克行容疑者を取材してきたそこで語っていたのは。」

2010 年 3 月河井氏「申し訳ないけど、自民党政権には戻らない。政権は戻らない。僕はそう思う。」

2010 年 4 月河井氏「自民党がじゃあ劇的に変わる見通しも、これでなくなったと。」

ナレ「所属する自民党への厳しい批判だった。地元広島の子供たちを見ながら、」

河井氏「古い自民党は、この山焼きのように燃え尽くして、それでやっぱり、既成のものが、ぶっ倒れないとき、新しいものが出てこないなど。」

ナレ「この頃、克行容疑者と近い関係にあったのが、総務大臣や法務大臣などを務めた、故鳩山邦夫氏だった。」

2009 年 6 月故鳩山邦夫氏「河井克行という男は、将来日本の政治の中核に立つだろう。」

ナレ「鳩山氏は 2010 年に自民党を離党。その後与謝野馨氏、平沼赳夫氏らと、新党結成について話し合っていた。克行容疑者もその話し合いに参加していた。」

河井氏「いただきまーす。」

ナレ「自宅では、妻の案里容疑者と、新党について話し合う様子も。」

案里容疑者「私はもう自分が、離れているから、いつでも離れてきたらって言っているの。」河井克行氏「そんなこと言わないで。」

(c m)

ナレ「自民党が野党だった 10 年前、河井夫妻は新党について話し合っていた。」

案里氏「もう私はもう、自分が離れているから、いつでも離れてきたらと言っているんだけど。」

克行氏「そんなこと言わないで。」

案里氏「私はね、あの一、新党ということは、この時代も、必然だと思うんです。もう自民党は完全に死んだと思ってますから。」

克行氏「そうなんだよね。」

克行氏「だからもう自民党が、もう終わった。自民党が役割を終えたということについては、自民党の黨員も含めて、積極的に意識しているか。うすうす感じているかは別として、おそらく多くの国民が、感じていると思うんですよね。なんとなく。」

案里氏「身を挺して頑張ってください。」

克行氏「身をなげうって。」

案里氏「フッフ投げうって。」

克行氏「あとはよろしく」

案里氏「フッフッフッフ骨は拾います。フッフ」

ナレ「当時、案里容疑者は、広島県議会議員を辞めて、無所属で挑んだ広島県知事選に敗れ、浪人中だった。その後克行容疑者は、鳩山氏が立ち上げた派閥横断グループ、きさらぎ会の幹事長となった。自民党は終わったとまで、話していた克行容疑者だったが、安倍総理との距離を縮めていく。そのきっかけが、2012年の自民党総裁選だった。鳩山氏は、こう振り返っている。」

鳩山邦夫氏「河井君ちょっと来てくれと言って。俺は（自民党ではないから）一票ないけど、みんなに頼んで、きさらぎ会は、安倍晋三というので勝負したらどうだろうか。こういう風に言った。そしたら彼は腕組みして、うーんと考えて、安倍晋三さんですか。一日考えさせてください。翌日、やってきて、それは最良の策だろうと。」

ナレ「そして、総裁選で勝利した安倍総理の元、2015年には、総理大臣補佐官に就任した。」

ナレ「克行容疑者のパーティーで、菅官房長官はきさらぎについて」

菅義偉官房長官「まさに最大の国会議員所属のグループでありまして、そしてその幹事長を、河合さんがされておられる。として皆さん挙げて、安倍政権を強烈に支援を頂いておりますことに、感謝を申し上げる次第でございます。」

ナレ「安倍総理はきさらぎ会の会合に出席するようになり、菅官房長官は、鳩山氏が亡くなった後、きさらぎ会の顧問に着いた。」

ナレ「克行容疑者は、ブログなどでたびたび、安倍総理や菅官房長官との、近さをアピールしていた。」

河井氏ブログ「安倍総理大臣議員会館をサプライズ戸別訪問。今回の総裁選にかける安倍晋三総裁候補の熱意に驚きました。」

ナレ「新元号発表直後には、」

克行氏ブログ「官房長官には、言葉に尽くせぬご苦勞が山ほどあったでしょうが、それを感じさせない、いつもと変わらず安定のガースーでした。」

ナレ「最近、菅官房長官を囲む、若手中堅議員の会 向日葵会を主催し、菅氏と撮った写真を掲載していた。去年7月の参院選で、案里容疑者の選挙活動は、克行容疑者が実質的に取り仕切っていたと言われる。買収事件は1億5000万円の巨額の資金が原資となったのではないかと。この疑問についておととい安倍総理は。」

安倍総理「二階幹事長より、党本部では公認会計士が、厳格な基準に照らして、事後的に各チームの資質をチェックしているところであり、こう間言われているような用途に使うことができないことは当然でありますという、説明を行われたというように承知をしております。」

ナレ「資金の配分は、誰がどのように決めるのか。自民党で選挙を取り仕切る幹事長や、副総裁を務めた山崎拓

氏に聞いた。」

日下部「1億5000万円が、まあ選挙資金として、振り込まれたと。」

山崎拓 自民党元副総裁「ちょっと大きすぎるんじゃないかと思いますね。あの、選挙の時にはですね、公認候補に対して、衆議院も参議院も、だいたい一律に同額配りますよ。今度のような資金配分は、極めて異例と思います。」

山崎氏「法定選挙費用というのがあるから、それをはるかに超える金額を、配るということ自体がね、説明がつかないから。名義的には、あの一選挙の最高責任者は、自民党総裁ですからね。自民党総裁の了解なしに、そういう差をつけるということは、なかなか難しいと思いますね。幹事長が独断専行ではやれないと。選対委員長の独断専行でもやれないと。」

ナレ「今回の事件については、」

山崎氏「一強支配におんぶにだっこだから。誰にも危機感も何もないわけよ。総理総裁にゴマすってさえすれば、あの、ラクチンなんですよ。みんなラクチンラクチンとなんて言ってるわけですよ。どんぐりの背比べ。どんぐりころころなんですよ。ハハッ。お池にはまってさあ大変となってるわわけですよ。」

日下部「結果的には、選挙戦略としては失敗したわけですよ。」

山崎氏「今度の選挙違反の、お金を出し方見ていると、そのお金の力で票を持った人を、ひっくり返してますからね。災いの元となったですね。これは。過剰な資金を投入されたということが、災いの元になったんじゃないですか。うん。結局この逮捕につながっちゃったんじゃないですかね。うん。」

(c m)

特集を受けて、スタジオでは以下に朱記したようなやり取りが繰り返された。

膳場「河井前法務大臣と案里議員の逮捕。自民党本部からの巨額の資金提供などについては、当の河井夫妻も、総裁である安倍総理も、そして選挙を取り仕切る幹事長である、二階氏も詳しい説明をしていません。選挙にの買収が疑われているわけですから、有権者への説明は、不可欠だと思います。」

日下部「あの、河井夫妻のですね、過去の、やりとりあの興味深く見たんですけども、自民党は死んだとかですね、新党が必要だと言っている2人にとってはですね、自民党という政党よりですね、安倍総理との距離感、あるいは官邸との近さが、何よりも重要なんだと、そしてこういう人たちがですね、安倍一強体制を支えているんだというふうに思いましたね。」

金平「あの1億5000万円のね、選挙資金ですけども、これ政党助成金が含まれているかもしれない。これ国民の税金ですよ。2019年には、自民党には178億円と言う過去最高の政党助成金が、受け取ってたわけですけどね、検察の捜査の行方ですけどね、あえて私厳しいことを申し上げますけども、身内の黒川検事長の賭け麻雀も立件していない。森友事件の公文書改ざん事件も立件しなかった。近畿財務局の職員が公文書改ざんをさせられて、自殺までしても、立件しようとしなかったと。そういう検察庁だって冷徹な現実があるわけですよ。今逮捕ですけどね、検査とは社会責任の場に立ってるわけですけども、国民の側から信頼を取り戻すためにはですね、政治の腐敗に対して、法の力でですね、捨て身で切り込んでいく捜査をきちんとやってほしいという風に思いますね。」

この特集に当てられた時間は1290秒だった。

幹事長経験者としてはかねてより安倍政権に対して批判的な石破滋と山崎拓に取材をしており多数いる幹事長経験者の中でなぜ、この2名なのか、という点については番組制作サイドの恣意性を感じるものだった。

河井克行という人物について掘り下げたような形をとっている反面、2010年4月の河井克行氏の「自民党がじゃあ劇的に変わる見通しも、これでなくなったと。」という発言をしているシーンなどは「これ」という指示語の

指す内容がなにか全くわからず、河井克行の当時の発言の意味が全く伝わらないような取り上げ方がされていた。また、宏池会一強という広島県の政治事情が取り上げられておらず、河井克行の政治家としての歩み、宏池会ではなく鳩山邦夫や菅義偉、安倍晋三に接近するに至った経緯なども今ひとつわかりにくいものとなってしまう。

そしてなにより、夫である河井克行の人間関係については安倍総理や菅官房長官の側近などと取り上げられているのに対して、今回の参院選に出馬した河井案里議員は安倍総理の出身派閥である清和会（細田派）の議員ではなく、志帥会（二階派）所属の議員であるということについては全く触れられていなかった。河井克行氏の法務大臣人事は安倍案件であるとか菅案件というふうに取り上げられても仕方のない面もあるが、少なくとも河井案里議員については安倍総理や菅官房長官の側近とは言えず、二階案件といったほうがより実態を即しているだろう。そもそも、河井案里議員が安倍総理や菅官房長官と特別に近い関係にあるのであれば、それを差し置いて二階派に所属する、という行動は極めて不自然であるのだから、河井案里議員が二階派所属という情報を知っていれば、党本部からの優遇も、官邸の意向を疑うよりもまず先に幹事長の意向を疑うだろう。加えて、二階幹事長のこれまでの手法を見ていくと、二階幹事長は他政党からの議員の取り込みに余念がなく、選挙区選出の現職のいない選挙区では比例復活の議員と他政党出身議員のどちらにも公認を与えず選挙で競わせ当選した方に追加公認を与えるという選挙が目立つ。また、今回落選した溝手氏が所属している宏池会は山梨であるとか静岡あるいは福岡でそうした二階方式によって苦汁をなめさせられてきている。ある意味では二階幹事長が宏池会をなめているとも見えなくような手法とも言える。もちろん、そうした二階氏の政治手法についても今回の特集では一切触れられていなかった。

今回の報道ではそもそも河井案里議員が二階派所属の議員であるという情報も取り上げられなかったし、石破幹事長のコメントが取り上げられる一方で、現職幹事長である二階氏の政治手法も取り上げられないという徹底した「二階隠し」とでも言えるような構成で、官邸主導、安倍菅案件というストーリーに視聴者を誘導するように重要な事実が削ぎ落とされた報道がなされていた。

これは放送法第四条一項三号「報道は事実をまげないですること」に照らして非常に問題のある報道と言える。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

・【結論】河井夫妻逮捕～買収事件の裏に何が：結論→極めて問題

河井夫妻の逮捕およびその発端となった参議院選挙について極めて政局的、政治力学的な観点から官邸主導という図式の報道が組まれていたが、政局を見る上で基礎的な情報となる所属派閥については全く触れられていなかった。番組サイドとしては議員の所属派閥は基礎的な情報なのだから視聴者自ら調べろとでもいいたいのかもしれないが、他方で河井克行氏の政治的な人間関係についてはごく丁寧な掘り下げがされていた。このように、基本的ではあるが官邸主導というストーリーに疑問符を投げかけるような情報を敢えて伏せた上で政局的に報じることによって、官邸の意向というストーリーへと視聴者を誘導する、極めて悪質な印象操作のなされた報道構成であった。

検証者所感

・【結論】河井夫妻逮捕～買収事件の裏に何が

スタジオで日下部キャスターが「あの、河井夫妻のですね、過去の、やりとりあの興味深く見たんですけど

も、自民党は死んだとかですね、新党が必要だと言っている 2 人にとってはですね、自民党という政党よりですね、安倍総理との距離感、あるいは官邸との近さが、何よりも重要なんだなど、そしてこういう人たちがですね、安倍一強体制を支えているんだなというふうに思いましたね。」とかなり否定的な口ぶりでコメントしていたが、そもそも自民党は派閥の連合体であり、今でも中選挙区や比例ではその傾向が強く中選挙区や比例では政党に頼り切ることにはできないから実力のある政治家の派閥を頼るというのは極めて自然な流れであろう。

また、宏池会王国、宏池会一強の広島県政界において非宏池会の河井克行氏の歩みが、自民党という政党より総理や官邸との距離感が重要という感覚にどう影響を与えてきたのか、ということは非常に興味がある。